

八丈島 水産だより

4月号

2012



3月の終わりにから4月の初めに大きな低気圧が続けて日本の近くを通ったので、
全国で嵐になりました。八丈島でも海が荒れて漁に出ることができない日が続きました。
漁に出たくて出たくて仕方がない漁師さん達は、嵐の合間に海が穏かになった
一日を逃さずいっせいに漁にでかけたので、漁港はからっぽになりました。

■ 今年のカツオはどこに？



八丈島の漁師さんは、カツオ漁のことにになると燃え
ます。カツオがあまり獲れない年が続いていますが、
それでも「今年こそは！」と1月頃から早々と
カツオ漁にそなえて船をきれいに掃除したり道具を
そろえ、3月～4月のカツオ漁のシーズンにはかなり
気合いが入ります。今年も「今か今か」とカツオ
が島の近くにやってくるのを待ち望んでいますが、
残念ながら漁に出てもいまだにカツオはほとんど姿
を見せません。でも、たまにカツオが獲れると、少
しの量でもカツオに思い入れの強い八丈島の漁師さん
はニッコリです。

■ 春トビが「こげーて（凍えて）」います。

八丈島は、今、島の周りだけ海の温度が
沖よりも2℃～3℃位低くなっています。
このようなときに、春トビ（ハマトビウ
オ）は寒がってじっとしているのか、島の
周りで見かける姿も少なくなります。で
も、漁師さんはトビウオを見つけるのが上
手なので、漁港ではトビウオが順調に水揚
げされています。

春トビ（ハマトビウオ）

